

森林の持つ多面的機能

林野庁HPより

物質生産



木材やきのこの生産の場になる

生物多様性
保全



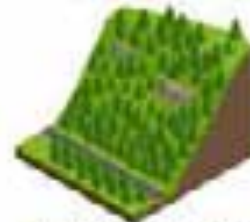
いろいろな動物のすみかになる

地球環境保全



地球温暖化を防ぐ
1兆4652億円/1年

土砂災害防止・
土壌保全



山が崩れるのを防ぐ
3兆6986億円/1年

水源涵養



水を貯え、
きれいにする

29兆8454億円/1年

快適環境形成



空気をきれいにし、
生活環境を快適にする

保健・
レクリエーション



レクリエーションの
場になる

2兆2546億円/1年

文化



文化・景観を
形づくる

森林は地球温暖化を防止する

林野庁

English | トップページ | サイトマップ | お問い合わせ

辞引データベースから
検索

キーワードから
検索

Google 検索

検索

林野庁について

お知らせ

目録について

検索・お問い合わせ

林野庁 > 自然環境部 > 気候変動防止に向けたこと > 森林は二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の

森林は二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の防止に貢献しています

地球温暖化の防止には、温室効果ガス、中でも温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素の大気中の濃度を増減させないことが重要で、地球上の二酸化炭素循環の中では、森林が吸収源として大きな役割を果たしています。

森林を構成している一木一木の樹木は、光合成により大気中の二酸化炭素を吸収するとともに、酸素を発生させながら成長を遂げ、成長します。

2 森林の持つ大切な役割

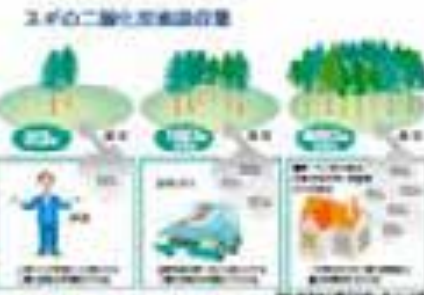
① 気候変動の緩和

森林は光合成によって二酸化炭素を吸収し、酸素を大気中に放出しています。このため、森林には、世界中の気候変動防止にも、人間の気候変動防止にも、重要な役割を果たしています。

2007年に公表された気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書「気候変動の緩和策」によると、世界的な気候変動防止策として、森林の吸収源としての役割を最大限に活用することが求められています。

森林が温暖化すると、森林が吸収する二酸化炭素の量が減少し、気候変動防止策が効果的でないことが懸念されています。また、森林の減少により、森林の吸収源としての役割が弱まるとともに、森林の減少による気候変動防止策が効果的でないことが懸念されています。

① 森林を保護し、森林の吸収源を増加させること
② 森林減少・劣化を抑制し、森林の吸収源を増加させること
③ 森林の吸収源としての役割を最大限に活用すること



↑林野庁HPより

環境省パンフレット「世界の森林を守るために」→

森林と住民生活を破壊する 再エネ計画が乱立

山林・森林が狙われる背景

- ・背景には、山林価格が低迷しており、安価でまとまった面積の用地が取得しやすいこと
- ・山主が森林に関心を持っておらず、高齢化・相続等により維持できなくなり、手放したいと考えている

→利益優先の再エネ開発が、貴重な自然や地域生活を脅かし、違法・脱法行為がまかり通ってしまっている

宮城山形風力発電事業計画で、宮城山形北部の県境一帯30kmにわたり、70~90基、高さ最大140mの巨大風車事業計画がある



尾根筋を破壊する、風力発電開発 天神丸風力発電計画(徳島県剣山地)



宮城県仙台市青葉区

ハイランドサーキットメ
ガソーラー

Hybrid Location - Coexistence
of Solar and Hydropower - New solar
power generation system by NCA GEDCO

Go



奈良県平群町

メガソーラー・大規模風力発電のための 森林破壊により予測される弊害

- **野生動物の生息地破壊**
- **水源の枯渇**
- **土砂災害・土石流の発生**
- **地球温暖化防止機能の喪失**
- **景観破壊**

→原則、森林以外の場所での再エネ開発をめざすべき

森林・水源・生物多様性保全と再エネの調和 のための制度実現を

1 設置回避地域の制度化

森林を破壊して再エネは作らないが原則

例) 山梨県太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例

https://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-ene/jorei/jorei_seitei.html

※地方自治体が条例をつくって対応しているのは無秩序な森林開発に相当危機感を持っているから

森林・水源・生物多様性保全と再エネの調和 のために必要な制度の実現を

2 現行規制の抜け穴を防ぐ対策

(例)

- ・FIT法・・・認定要件、認定取消し要件の再検討、認定を売買を制限する仕組み
- ・森林法の開発許可制度・・・林地開発許可の要件の再検討、許可取消の手續の導入、違反の罰則の強化
- ・環境影響評価法・・・要件の緩和はすべきでない